



STAR'S REPORT

2017年2月期 中間報告書

スター精密株式会社

証券コード：7718

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2017年2月期中間期(2016年3月1日から2016年8月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2016年11月



取締役社長
佐藤 肇

■ 当中間期の業績について

当中間期における経済情勢は、米国経済は回復基調で推移し、欧州も緩やかな回復が続きました。アジアにおいては、中国の景気は緩やかな減速が続きましたが、東南アジアでは一部持ち直しの動きもみられました。わが国においては、景気は緩やかな回復基調が続きました。

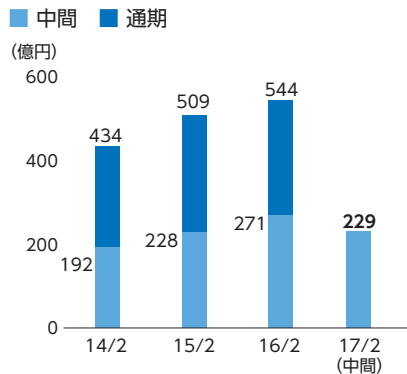
当社グループの主要関連市場におきましては、特機事業におけるPOS関連市場で需要は回復傾向で推移しましたが、工作機械および精密部品に関する市場では、需要は伸び悩みました。

なお、当中間期における為替レートは、前年同期に比べ米ドル、ユーロともに円高水準で推移しました。

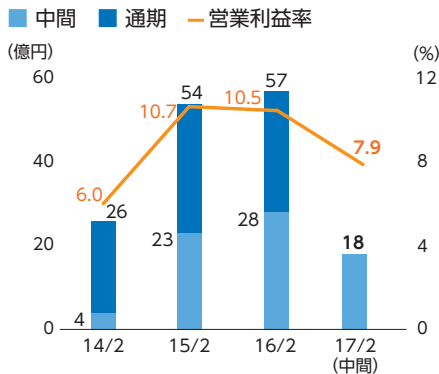
このような状況のなか、当中間期の売上高は、工作機械および精密部品の販売が減少したことに加え、円高の影響もあり、前年同期比15.4%減の229億7千9百万円とな

▶ 連結業績ハイライト

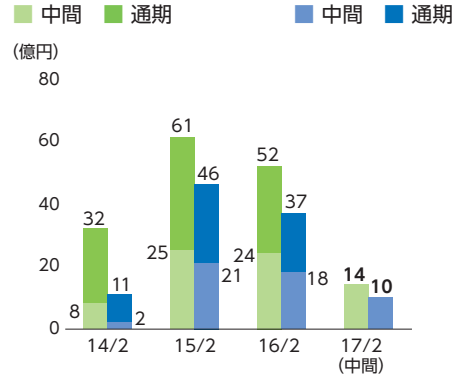
売上高



営業利益／営業利益率



経常利益／親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



りました。利益につきましては、営業利益は同36.7%減の18億6百万円、経常利益は同40.0%減の14億8千3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同42.9%減の10億6千万円と大幅な減少となりました。

■ 事業別の状況について

特機事業については、欧州市場とアジア市場は円高の影響があり売上は減少しましたが、米国市場は販売代理店の在庫調整が一巡し、国内市場はmPOS向けの販売が好調に推移したため、売上、利益ともに増加しました。

工作機械事業については、欧米を中心に円高の影響を受けるなか、米国市場は主力の医療関連が堅調に推移したもののその他が伸び悩み売上は減少し、欧州市場は新興国や主要国でも販売が伸び悩み売上は大幅に減少しました。アジア市場は中国での販売は堅調に推移しましたが、その他の地域が落ち込んだことから売上は減少し、国

内市場も設備投資に慎重な姿勢がみられ、売上、利益ともに大幅に減少しました。

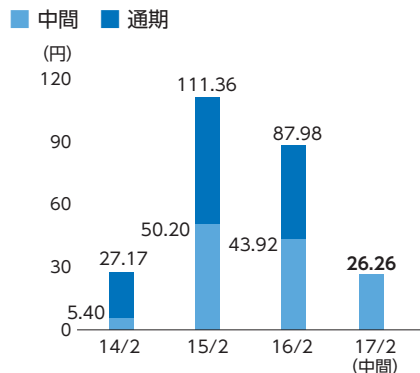
精密部品事業については、時計部品は、腕時計メーカーの生産調整の影響もあり売上は減少したほか、非時計部品は、自動車部品の減少や、HDD部品が需要減少の影響を受けたことなどにより、売上、利益ともに減少しました。

■ 通期の見通しについて

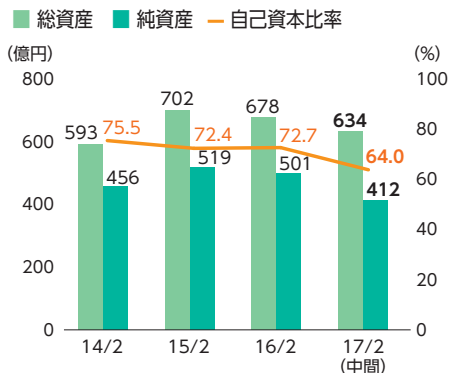
今後の世界経済については、英国の欧州連合(EU)からの離脱決定や中国をはじめとする新興国での景気減速の懸念など、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況のなか、特機事業においてmPOS向けの販売が引き続き好調に推移するものの、工作機械事業などの販売が伸び悩み、為替レートも円高に推移していることなどから、通期の連結売上高は前期比18.5%減の444億円を見込んでいます。利益につきましては、売上の

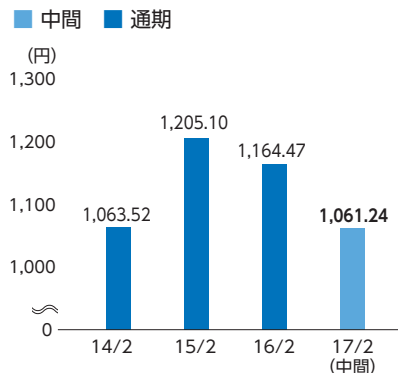
1株当たり四半期(当期)純利益



総資産／純資産／自己資本比率



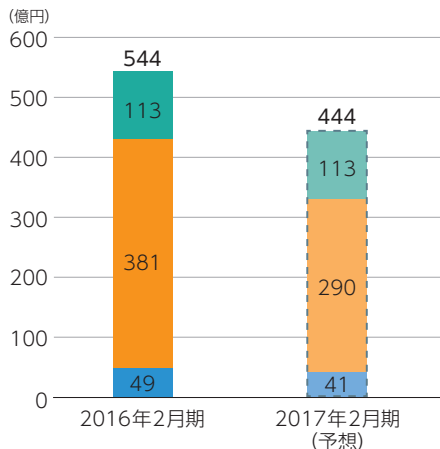
1株当たり純資産



減少などに伴い、営業利益は同42.5%減の33億円、経常利益は同40.5%減の31億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同24.7%減の28億円を見込んでいます。

●セグメント別売上高

(■特機事業 ■工作機械事業 ■精密部品事業)



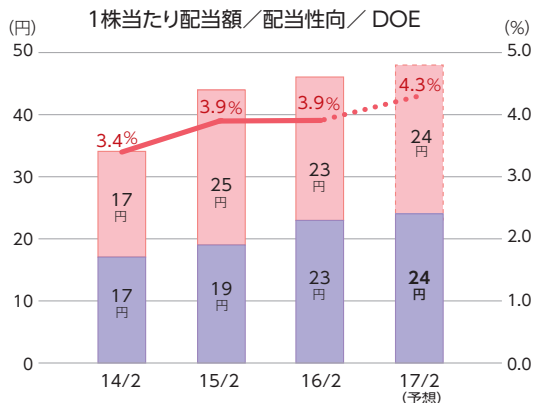
■株主の皆様へ

従来より当社グループは、成長産業に身を置きながら収益性を重視し、得意分野のなかで確固たる地位を築くべく、グローバルニッチ戦略を推進することを基本的な事業方針としております。

また、健全な財務体質を維持しながら、事業投資を推進し利益を増大させることに主眼を置きつつ、自己株式の取得等による資本効率の向上にも配慮してまいりたいと考えております。なお、2016年6月に2021年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行により80億円を調達し、うち50億円を自己株式の取得に充てております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▶株主還元



年間配当	34円	44円	46円	48円
配当性向	125.1%	39.5%	52.3%	66.7%

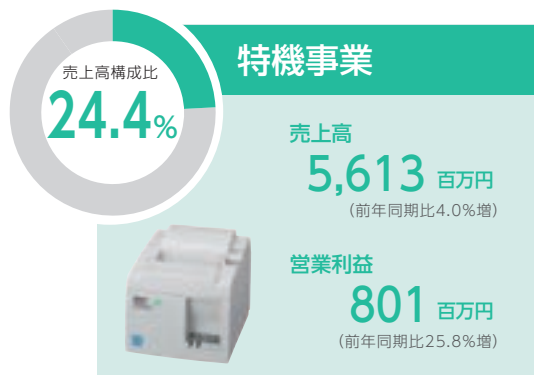
株主配当については、公約配当性向(連結)を40%以上とし、中期的な目標DOE(連結株主資本配当率)を4.5%以上としております。

当期の1株当たりの中間配当は、前期の中間配当に比べ1円増配の24円とさせていただきます。また、期末配当についても同じく1株当たり24円を予定しており、中間配当とあわせた当期の年間配当予想は、前期に比べ2円増配の48円となります。

また、資本効率の向上を目的として、上記のとおり2016年6月から7月にかけて50億円の自己株式取得を実施したのに加え、同年9月29日開催の取締役会で株数100万株、金額15億円を限度とする追加取得を決議しております。

事業別の概況

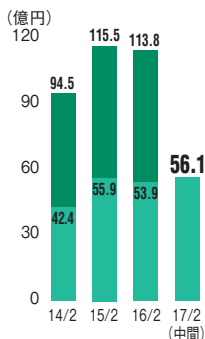
BUSINESS SEGMENT OVERVIEW



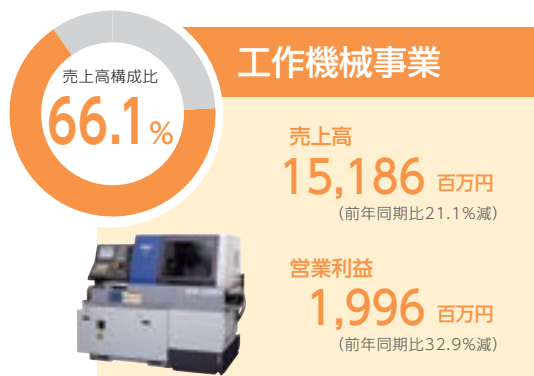
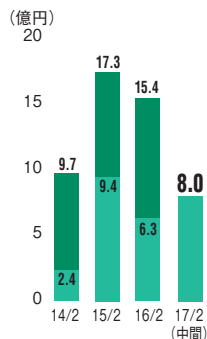
▶ 当中間期のポイント

- 米国市場は、円高の影響があったものの、販売代理店の在庫調整が一巡し売上は増加
- 欧州市場は、市況は回復傾向で推移し、アジア市場も堅調に推移したが、円高の影響があり売上は減少
- 国内市場は、mPOS向けの販売が好調に推移し、売上は大幅に増加

売上高 (■中間 ■通期)



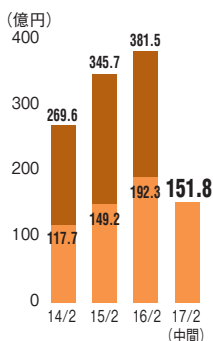
営業利益 (■中間 ■通期)



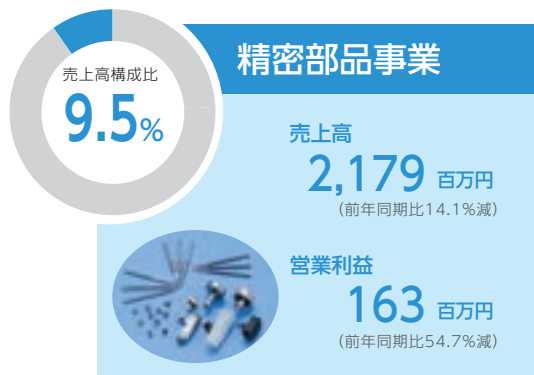
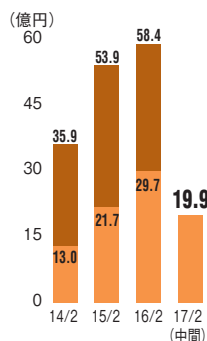
▶ 当中間期のポイント

- 欧米を中心に円高の影響を受けるなか、米国市場は、主力の医療関連は堅調に推移したが、その他は伸び悩み売上は減少
- 欧州市場は、東欧などの新興国や、ドイツなどの主要国でも販売が伸び悩んだことから、売上は大幅に減少
- アジア市場は、中国での販売は堅調に推移したが、その他の地域が落ち込んだことから、売上は減少
- 国内市場は、設備投資に慎重な姿勢がみられ、売上は大幅に減少

売上高 (■中間 ■通期)



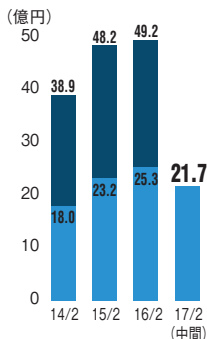
営業利益 (■中間 ■通期)



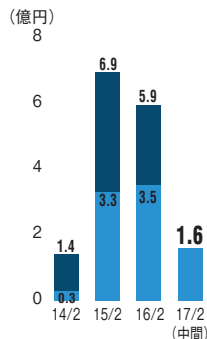
▶ 当中間期のポイント

- 時計部品は、腕時計メーカーの生産調整の影響もあり、売上は減少
- 非時計部品は、自動車部品の減少や、HDD部品が需要減少の影響を受けたことなどにより、売上は大幅に減少

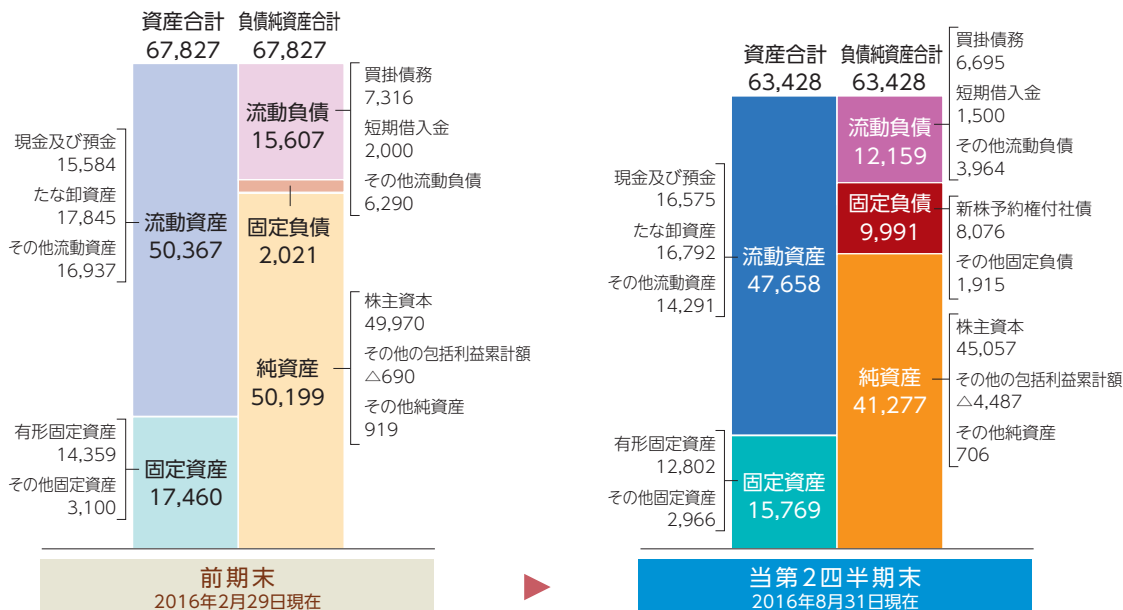
売上高 (■中間 ■通期)



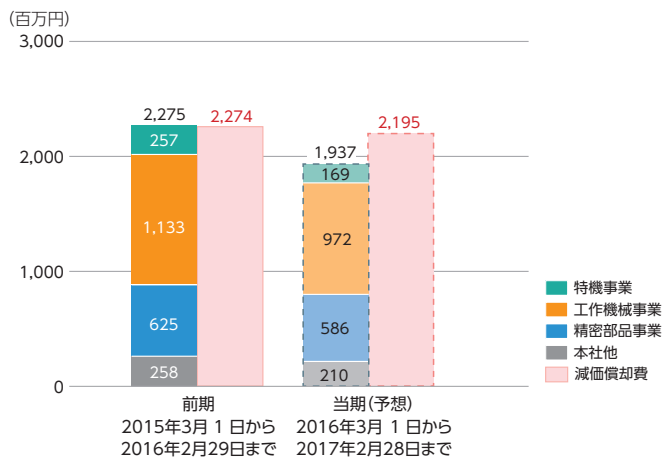
営業利益 (■中間 ■通期)



▶ 四半期連結貸借対照表の概要 単位：百万円



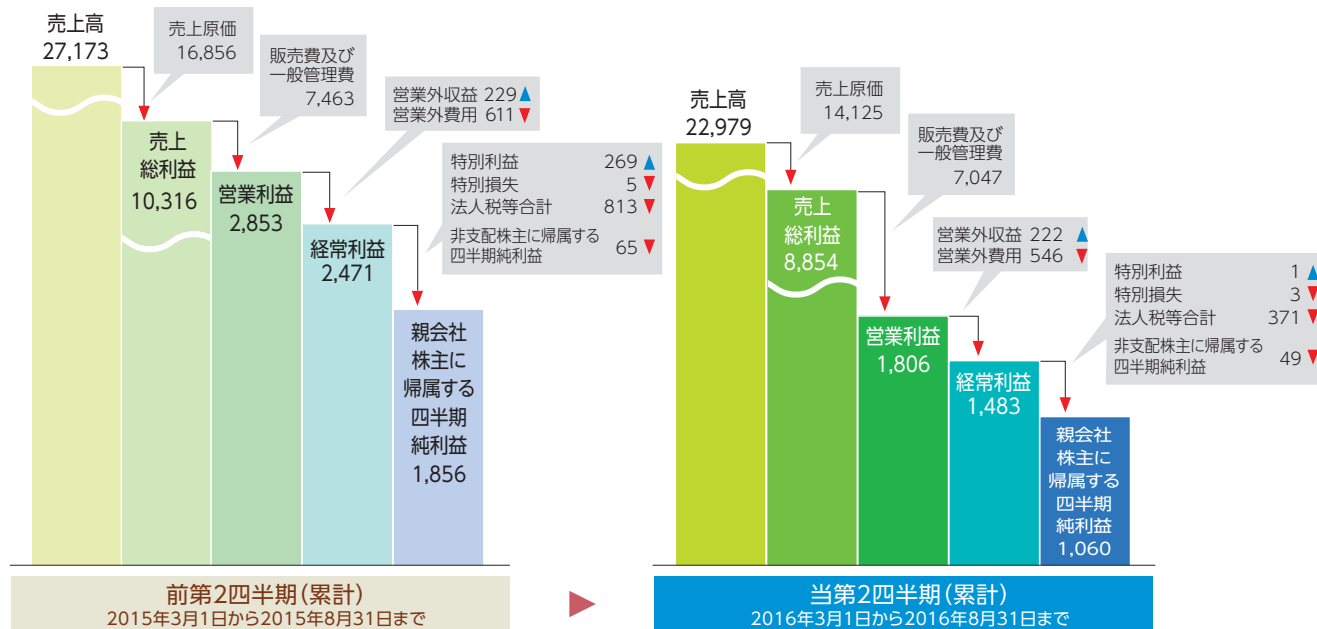
▶ 設備投資



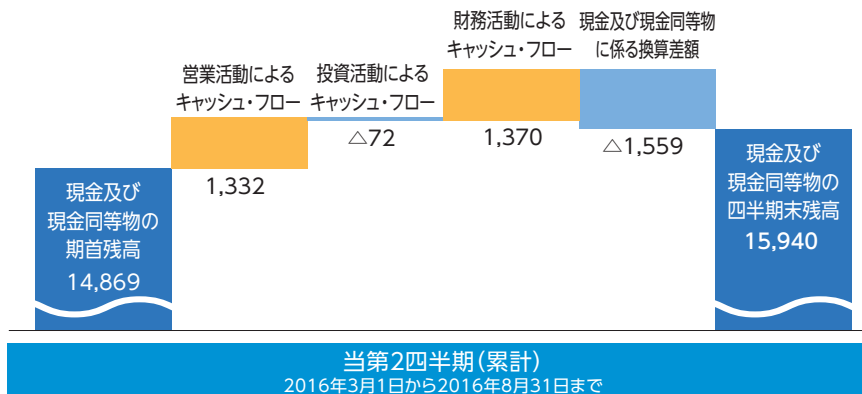
主な設備投資実績および予定 (2017年2月期)

事業	内訳
特機事業	新製品用の金型等
工作機械事業	維持更新、合理化用の生産設備等
精密部品事業	能力増強および合理化、省力化用の生産設備等
本社他	情報システム関連等

▶ 四半期連結損益計算書の概要 単位:百万円



▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 単位:百万円



「リテールテックJAPAN2016」に出展

2016年3月、東京ビッグサイトで開催された流通業界に最新のIT機器・システムを紹介する国内最大級の展示会「リテールテックJAPAN2016」に出展しました。

当社ブースでは、多言語に対応した新製品「TSP100IIIW」や各種モバイルプリンターの展示をはじめ、電子レシートサービス「AllReceipts（オールレシート）」などを紹介しました。なかでも、キャッシュドロアー（金銭収納・引き出し機器）とプリンターが一体となった製品「mPOP（エムポップ）」が注目を集め、連日多くの方にお越しいただきました。



mPOS向けのプリンター2機種を発売



mPOS向けプリンターの有線LANモデル「TSP100III LAN」およびBluetoothモデル「TSP100III BI」の販売を開始しました。

この新製品により、先行発売した無線LANモデルに加えて有線LANとBluetoothがTSP100IIIシリーズにそろい、用途に合わせて接続方式の選択が可能となりました。同シリーズは、印刷した用紙の丸まりを防ぐデカール機能を搭載したほか、USBポートを装備しモバイル端末等を充電することができるなど、優れた機能を有しています。

2016年6月販売開始

スイス型自動旋盤「SV-20R」を発売

自動車、医療などあらゆる分野をターゲットに、最大加工径20mmの複雑形状加工モデル「SV-20R」の販売を開始しました。

工具回転制御軸(B軸)付きの8面タレット型刃物台を搭載し、プログラムによる自在な角度制御のほか、同時5軸制御などの多彩な加工バリエーションを実現しています。また、多様化が進む部品加工ニーズに対応するため、ガイドブッシュとノンガイドブッシュの切り換えにより、加工部品の全長寸法に応じて最適な仕様での加工を可能にしています。さらに、正面／背面での工程分割および同時加工のほか、当社独自の制御方式であるスターモーションコントロールシステムによりアイドルタイムを削減することで加工時間の短縮を実現しています。



2016年5月販売開始

精密部品事業子会社で新工場棟増設



右下が今回増設した新工場棟

精密部品事業の国内製造子会社、(株)マイクロ札幌(所在地:北海道石狩市)に新工場棟(第2工場)を増設し、2016年3月より操業を開始しました。

新工場棟には新たに熱処理炉設備を導入し、時計部品の一貫生産体制を構築することで、今後の受注拡大への対応を図っていきます。また、北海道では自動車産業の集積促進に官民一体となって取り組んでおり、これらの需要も取り込んでいく予定です。

News

英国・工作機械事業販売子会社の事務所拡張

2016年8月、スターマイクロニクス GB・LTDは、ダービーシャー州にある事務所を同州内の新たな場所へ移転し、ビフォアサービス等の強化による販売拡大を目的にショールームスペースを拡張しました。



国内拠点

事業所

本社
品質技術センター

■特機事業部

庵原工場
東京営業所

■機械事業部

菊川工場
東京営業所
大阪営業所
名古屋営業所
諏訪営業所

■精密部品事業部

富士見工場

国内子会社

(株)ミクロ札幌
スターメタル(株)

海外拠点

北米

スターマイクロニクス
アメリカ・INC(米国)

スタークラウド
サービス・INC(米国)

スター CNC
マシンツール Corp.(米国)

スターアメリカ
ホールディング・INC(米国)

欧州

スターマイクロニクス
ヨーロッパ・LTD(英国)

スターマイクロニクス・
AG(スイス)

スターマイクロニクス
GB・LTD(英国)

スターマイクロニクス・
GmbH(ドイツ)

スターマシンツール
フランス・SAS(フランス)

アジア

スターマイクロニクス サウスイースト
アジアCo., LTD(タイ)

天星精密有限公司(香港)

上海星昂機械有限公司(中国)

スターマイクロニクス(タイランド)
Co., LTD(タイ)

斯大精密(大連)有限公司(中国)

スターマイクロニクス
マニュファクチャリング
(タイランド)Co., LTD(タイ)

上海星栄精機有限公司(中国)

スターマイクロニクス プレジジョン
(タイランド)Co., LTD(タイ)

▶ 会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	567名 (注) 契約社員等の当中間期の平均雇用人員51名を除いております。
営業品目	1.特機(小型プリンター、カードリーダーライター) 2.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械) 3.精密部品(腕時計部品、自動車用・空調機器用・HDD用・医療用等部品)

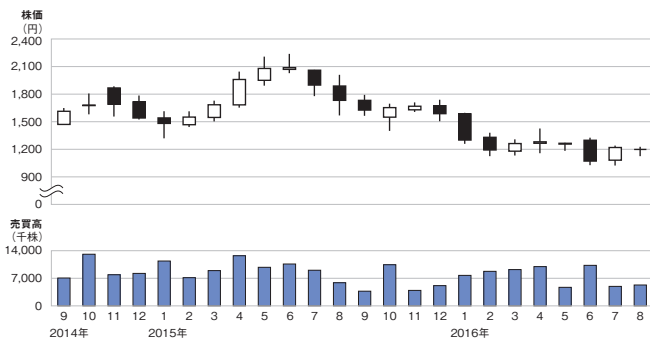
▶ 役員

代表取締役 取締役社長	佐藤 肇	上席執行役員	村上 淳一
常務取締役	田中 博	上席執行役員	青木 隆之
常務取締役	佐藤 衛	上席執行役員	杉浦 啓之
社外取締役	岩崎 清悟	執行役員	西沢 良和
社外取締役 常勤監査等委員	堀池 英伸	執行役員	山梨 正人
社外取締役 監査等委員	洞江 秀	執行役員	笹井 康直
社外取締役 監査等委員	杉本 基		

▶ 株式状況

発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式総数	47,033,234株
株主数	10,717名

▶ 株価および株式売買高の推移 (東京証券取引所)



▶ 大株主(上位10名)

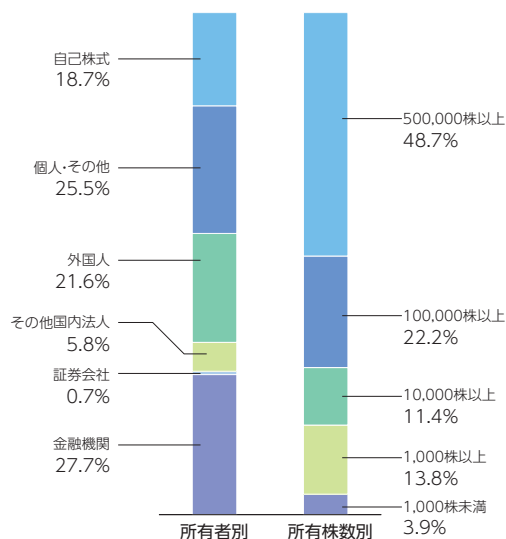
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,242	8.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,517	6.6
株式会社静岡銀行	1,582	4.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,111	2.9
シチズンホールディングス株式会社	1,058	2.8
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	849	2.2
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	717	1.9
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HCR00	704	1.8
鈴木 通	698	1.8
ザ バンク オブ ニューヨーク 133522	581	1.5

(注1) 当社は、自己株式8,803千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。なお、当社は2016年9月29日開催の取締役会で1,000千株を限度とする自己株式の取得を決議しております。

(注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

(注3) シチズンホールディングス株式会社は、2016年10月1日をもってシチズン時計株式会社に商号変更をしております。

▶ 所有者別・所有株数別分布状況



株主メモ SHAREHOLDERS INFORMATION

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	期末配当 2月末日 中間配当 8月31日
定時株主総会の基準日	毎年2月末日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-49-7009 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (http://www.star-m.jp)
単元株式数	100 株

● ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、IR情報や新製品に関するお知らせなどさまざまな最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.star-m.jp>



株式に関するお手続きについて

お手続き内容	お問合せ窓口	
	証券会社に口座をお持ちの株主様	証券会社に口座をお持ちでない株主様
<ul style="list-style-type: none"> 住所・氏名等のご変更 単元未満株式の買取および買増請求 配当金の受領方法のご変更 	<p>口座をお持ちの証券会社</p>	<p>特別口座の口座管理機関 東京証券代行株式会社*</p> <p>東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (神田錦町三丁目ビルディング6F)</p> <p>* 三井住友信託銀行株式会社全国本店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)においてもお取次しております。</p> <p>《郵便物送付先・連絡先》 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話 0120-49-7009(通話料無料)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 未受領の配当金に関するお問合せ 郵便物についてのお問合せ・再送付のご依頼 株式事務に関する一般的なお問合せ 	<p>すべての株主様</p> <p>株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行 本支店でお支払いいたします。</p> <p>《連絡先》 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)</p>	

スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10
TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

